



令和4年1月11日

渋谷区立松濤中学校 学校だより

世界へ松濤中生 Grow(自立) Respect(尊重) Create(創造)

自律を目指して

校長 守原智信

新年あけましておめでとうございます。今年も健康で様々なことに挑戦する一年にしましょう。

さて、新しい年の初めに日本のスポーツ界では様々な競技種目で大きな大会が行われます。その一つに毎年新聞やニュース番組で大きく取り上げられる「関東大学箱根駅伝」があります。テレビ等で視聴した人もたくさんいると思います。今年で98回目となる歴史ある箱根駅伝ですが、今大会の注目は昨年優勝した駒澤大学の連覇なるか、昨年総合4位に甘んじた青山学院大学の王座奪回なるかに絞られていた感がありました。結果はご存じのとおり青山学院大学が、往路・復路・総合の完全優勝を成し遂げました。箱根駅伝で名をはせた青山学院大学の陸上部には、「青学のユニフォームを着て箱根駅伝に出場する」という夢をもった高校生ランナーがたくさん入学してきます。もともと力のある選手たちが、名監督の指導の下、科学的に研究された練習メニューにそって切磋琢磨しているのですから、おのずと結果はついてくるものですが、昨年の97回大会ではその結果が出ませんでした。優勝できなかった原因には他大学の力が拮抗していたことや、選手のコンディション等々あると思います。その中で名監督が出した敗因の一番は選手の「自律不足」でした。そこで昨年の大会が終わってから、それまで行っていた練習メニューを大幅に変えて、全員が同じ内容の練習を監督の指導の下で行うのは週

2日とし、それ以外の5日間は選手それぞれが、自分の力を伸ばすために必要なことは何であるかを考え（課題を見つける）、それを克服するために何をするかを自分で決めて練習する（主体的に考え行動する）スタイルにしたそうです。そうすることで「与えられたことをこなす」から「なぜこの練習をするのか」そして「どのように取り組むのか」を考えて練習に臨むようになり、受け身ではなく自分の責任で練習することができるようになったとのこと。自分で考え決めた練習ですから、結果が出て出なくても全て自分の責任です。そうなることが、人を頼るのではなく、自分で自分を律することにつながったそうです。箱根駅伝に限ったことではありませんが、大会前には出場選手のエントリーがあります。それまで一生懸命努力を重ねてきた選手であってもエントリーされない（出場できない）ことがあります。これは学年の上下は全く関係なく、下級生であっても力のある選手、コンディションの良い選手がエントリーされます。（スポーツの世界で厳しい場面の一つです）しかし、エントリーされなかった選手たちは、そのようなつらい場面であっても、自分のすべきことを自分で考え、チームが優勝するために出場する選手の補佐役を自ら引き受けるそうです。箱根駅伝に絡んでつらつらと



書いてきましたが、皆さんが日々の学習や諸活動においても大事なことは同じなのではないでしょうか。物事に取り組むときに「自分で課題を見つける」そして「課題を解決する方法を探る」さらに「どのように取り組むか決める」ことは非常に重要なことではないでしょうか。指示されたことをきちんとこなす力をつけることは必要なことです。その上に「自分で考えて動く」ことができるようになれば、自分のもっている力はさらに伸びて、様々な場面で活躍することができる人になるのではないのでしょうか。2022 年、ひとりひとりが「自律」を目指して真面目に取り組む一年にしましょう。

生徒会交流会

昨年の 12 月 27 日（月）原宿外苑中学校にて区内 8 校の中学校の生徒会役員が集まり、生徒会交流会を行いました。新型コロナウイルス感染症の予防対策で参加生徒数の制限がありましたが、松濤中学校からは生徒会長はじめ計 5 名の生徒会役員が参加しました。会は各中学校から各校での取り組みについて発表があり、その後に 5 人が一つのグループを作り、生徒会活動を進めるうえでの課題を出し合い解決策を考える、各学校の取組について意見交換を行うなど活気あふれるものになりました。

各中学校から出された課題の一つに「一般生徒は生徒会が何をしているかわからない」が上がっていましたが、本校会長から「取り組んでいることの進捗状況を生徒会新聞や生徒朝礼で伝えていくことが必要」という明確な回答が出されていました。また、松濤中学校の生徒会役員が 10 月からの 2 か月間に取り組んできたことに「校内での服装ルールの見直し」がありますが、生徒から出された意見をそのまま認めるのではなく、まず役員が話し合い原案（改定案）を作成して担当の先生に提示し、試行期間を設定して改訂したルールがきちん

と守られているかを確認したうえで、最終的にルールの改定を学校に要望する、といった一連の流れをきちんと整理して取り組んでいることが他校の生徒会役員の参考になったようでした。学校は違えど同じ生徒会役員という立場で意見交換できたことは、お互いに良い刺激となり今後の活動の糧になりました。



感染症予防対策

昨年末から新型コロナウイルスの変異株・オミクロン株による新規感染者数が急激に増加しています。冬休みが終わり一年間のまとめとなる大切な時期です。感染症拡大防止対策の基本である、マスクの着用・手洗い・換気・密を避けることを徹底していきましょう。現在主流となりつつあるオミクロン株は感染力が非常に強いようです。ご家庭におかれましては、登校前の検温を確実に行っていただき、発熱や体調不良の場合は決して無理をして登校せず、医療機関を受診する、自宅で休養をとるなどの対応をお願いします。

東京都は今回の新規感染者数の増加による「まん延防止期間」等の発令について国への要請はありませんが、感染の状況によっては校内の行事や会合等について中止または延期、変更等が必要になる場合もあります。その際は速やかにお伝えしてまいります。